

「6月度研修会」の報告について

修習技術者支援実行委員会 委員補佐
木下遥 技術士補(電気電子部門)

1. 研修会／先端研概要

日時 平成21年6月13日(土)

13:00～20:00

主催 社団法人日本技術士会
修習技術者支援実行委員会

会場 虎ノ門パストラル新館5階
「オーク」

(懇親会:茸手ビル5階CD会議室)

2. 研修会／先端研の構成

開催説明・講師紹介 修習技術者支援実行委員会	13:00～13:10 津上昌平
講演①「社会へのアクセス手法－ 技術士としての基本的な考え方」 (株)佐々木技術士事務所 技術士〔環境部門〕	13:10～14:00 佐々木克典
講演②「独立心と安定感、自己矛盾と 非凡な技術者に捧げる」ブランディング・ プレゼンテーション」 (株) エスティエスラーニング	14:00～16:00 片山毅
第269回先端複合技術研究会 司会	16:00～18:00 小林守
懇親会	18:30～20:00

3. 研修会の参加者

今回の研修会の参加者は39名であった。
22歳～61歳までの幅広い年齢層の方々
がご参加下さり、平均年齢は38.6歳であった。
参加者の年齢構成を図1に示す。

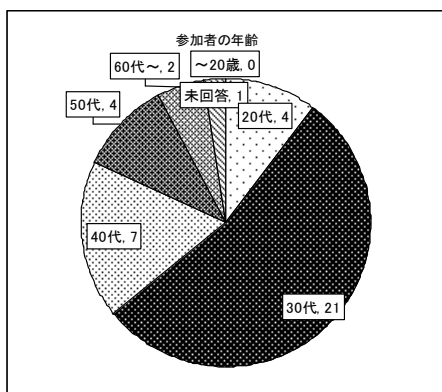


図1：参加者の年齢構成

また、今回はJABEE認定課程修了者3名の参加があった。徐々にではあるがJABEE認定課程修了者の参加が増えていることから、JABEE生の間で技術士制度の認知が進んできているのではないかと考えられる。

参加者の部門別割合を図2に示す。特に参加者が多いのは建設、機械、電気電子、環境部門であるものの、幅広い部門からの参加者があることが分かる。

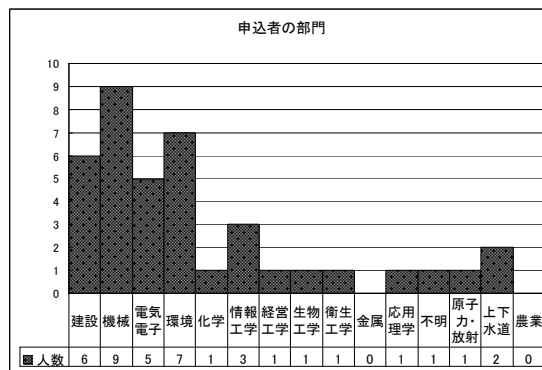


図2：参加者の部門

4. 研修会状況について

今回は茸手ビルではなく、虎ノ門パストラルにて研修会を行った。会場は、3人がけテーブルの両端が全て埋まるほどの盛況となった。



写真1：研修会状況

◆ 講演1について

佐々木講師の演題は「社会へのアクセス手法」であるが、単に社会へアクセスする方法だけでなく、技術士としての心構え全般のお話であり大変興味深かった。

特に興味深かったのは、「いつも、『何のために』『どのような結果に結びつくか』ということを考えながら仕事をしてきた」というお話。佐々木講師をはじめ就かれた仕事はあ

まり好きではなかったとのこと。しかし、「自分の今やっている仕事はなぜ必要なのか」「どのような結果に結びつくのか」とより広い視野で目的意識を持って仕事を行うようにしたところ、求められた以上の仕事を行うことができ、それをきっかけに独立されたそうである。

ともすれば技術者は自分の狭い専門分野に引きこもりがちになってしまうが、自分の行っている仕事が社会全体でどのような位置づけであるのか、自分が仕事を行うことによって社会がどう変わるのかを常に考えながら仕事をするのが大切であると感じた。

その他にも、タイムマネジメントの話、対人関係の話等大変勉強になった。自身の仕事についてのお話は、化学分析のかなり専門的な内容であったが、専門外の人にも分かりやすいようお話下さり大変興味を持てた。



写真2：佐々木講師

◆ 講演2について

片山講師からは、プレゼンテーション方法についての講演があった。この講演は、受講生のプレゼンをビデオに撮り、ビデオを再生しながら講師がアドバイスをを行うという双方向の講義であった。

まず前半、片山講師からプレゼンで気をつける事項についての説明が行われた。その後休憩を挟み、後半は受講生代表として矢部委員補佐がプレゼンを行い、それについてのコメントを頂いた。

かなり突っ込んだアドバイスを頂いたがどれも「なるほど」と思うアドバイスばかりであり、目から鱗であった。片山講師から頂いた、「プレゼンで大切なのは表面的なテクニックのうまさではなく、いかに相手の立場に立って、相手に信頼されるような提案をするかである」というアドバイスを今後のプレゼンに生かせるようにしたい。



写真3：片山講師



写真4：矢部委員補佐のプレゼン

5. 先端複合研究会

先端複合研究会では、橋本恵子氏、安間由倫氏、山本宗生氏の3名が発表された。

橋本氏は企業機密の関係で業務内容が発表できないとのことなので、「分子標的癌治療薬」について独自に調べたことを発表された。「業務内容が発表できないからといって発表をやめるのではなく、何とか発表内容を採り出す姿勢が大変素晴らしい」と小林副委員長が絶賛していた。

安間氏は「外壁タイル剥落防止性能の工場対策」と題して発表された。写真や図を多用した分かりやすいプレゼンであり、受講者から多くの質問が飛び出していた。

山本氏は「映像監視システムの最新動向」と題して業務内容について発表された。専門外の人が見ても分かりやすいよう、基礎的な部分から丁寧に説明されていたのが印象的だった。

6. 懇親会

場所を替え、葺手ビル CD 会議室にて懇親会を行った。多くの方がご参加下さり、講師に講演中に行ききれなかった質問をする、他の技術分野の方と名刺交換を行い交流を深めるなど大変盛り上がった。

以上